令和6年産　水稲栽培ごよみ

（ヒノヒカリ・にこまる・なつほのか）
（普通期）620運動：適期（6月20日前後）田植えでうまい米づくり

JAおおいた東部営農経済センター

監修　大分県東部振興局
ＪＡ全農大分県本部

	月	5月			6月			7月			8月			9月			10月		
	品種／旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
ステージ生育	なつほのか			播種		田植え			中干し	穂肥		出穂期					収穫期		
	ヒノヒカリ			播種		田植え			中干し		穂肥	出穂期					収穫期		
	にこまる			播種		田植え			中干し		穂肥	出穂期					収穫期		
					苗を作る		稲の体を作る				穂を作る			米を作る					

※出穂期は圃場の４～５割の穂が出た時です

水管理：土用干し／間断かん水／落水　※刈取前10日頃まで

病害虫防除と予防

	5月			6月			7月			8月			9月			10月		
病害虫名		●カビ ●立枯病 いもち病 ばか苗病 センチュウ			●スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ） 紋枯病 イネミズゾウムシ いもち病 ウンカ類 ニカメイチュウ			●ニカメイチュウ ●ハマキムシ			●稲こうじ病 カメムシ類 紋枯病 いもち病 ウンカ類	●穂いもち カメムシ類 ウンカ類	●紋枯病 カメムシ類 いもち病 ウンカ類		秋ウンカ類 カメムシ類				
防除時期					田植3日前～当日						8月上中旬	穂ばらみ期（8月中旬）	穂揃い期						
農薬名（粉剤体系）	塩水選	スミチオン乳剤	テクリードCフロアブル	●タチガレエースM液剤 ●ダコニール1000	※防人は紋枯病対象外 防人（さきもり）箱粒剤	または スクラム箱粒剤	●スクミノン	ハマキムシ発生時散布 ●トレボン粉剤DL			出穂10日前まで ●Zボルドー粉剤DL	ノンブラストレ バリダ粉剤DL	●ブラシン粉剤DL	ダブルカットスタークル粉剤DL ●バリダシン粉剤DL		スタークル粉剤DL			
農薬名（粒剤体系）	塩水選	スミチオン乳剤	テクリードCフロアブル	●タチガレエースM液剤 ●ダコニール1000	防人（さきもり）箱粒剤	または スクラム箱粒剤	●スクミノン	◎散布ポイント参照			ゴウケツモンスター粒剤	落水し株元散布	穂に集中散布	株元に十分散布		スタークル粒剤	穂に集中散布		
散布量		1000倍	200倍	500倍 1000倍	1箱当り50g		2kg	3～4kg			3kg	3～4kg	4kg	4kg	3～4kg	3kg	3kg		

○液剤体系

時期	適用病害虫	薬剤名	希釈倍率
8月上旬	ハマキムシ	バダンSG水溶剤（劇）	1,500倍
8月上中旬	稲こうじ病	ドイツボルドーA	2,000倍
8月中旬	ウンカ類	トレボン乳剤	2,000倍
	ハマキムシ		
	紋枯病	モンカットフロアブル	1,000倍
9月上旬	いもち病 ウンカ類 カメムシ類	ブラシンフロアブル	1,000倍
		スタークル液10	1,000倍
9月中旬	秋ウンカ カメムシ	スタークル液10	1,000倍

◎ゴウケツモンスター散布ポイント

①いもち病（穂いもち）、
カメムシ類を防除対象とする場合
処理適期：出穂 10～5日前

②いもち病（穂いもち）、
紋枯病、稲こうじ病、
ウンカ類を防除対象とする場合
処理適期：出穂2～3週間前
※カメムシ類は追加防除が必要

○乾燥

水分は14.5%～15.0%とし、過乾燥にならないように注意する。

○刈取

籾が80%程黄化した時刈取る。

除草剤名		使用量/10a	田植前 −7日	−4日	−3日～−1日	当日	田植後 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
初期処理剤	サキドリEW	500ml	代かき後	使用禁止																
	デルカット乳剤		代かき時		使用禁止															
一発処理剤	ジャスタ1キロ粒	1kg					移植時～移植後７日（田植同時処理装置で使用可能）													
	サラブレッドKAI1kg粒	1kg																		
	ラオウ1キロ粒	1kg																		
	ウィニングラン1キロ粒	1kg																		
	ラオウジャンボ	25g×10					移植直後～10日（初期剤との体系防除の場合はやや遅らせる）													
	ジャスタジャンボ	40g×10						移植1日後～10日												
	アシュラ400FG	400g					移植直後～10日（初期剤との体系防除の場合はやや遅らせる）													

除草剤名		田植後 日	14	15 ～	30 ～	40 ～	50	使用上の注意
中後期剤	レブラス1キロ粒剤							10a当り1kg
	レブラスジャンボ							10a当り400g
	クリンチャーバスME							10a当り1000mlを100Lで落水後に散布（落水散布）
	バサグラン液							10a当り500mlを100Lで落水後に散布（落水散布）
	トドメバスMF							10a当り1000mlを100Lで落水後に散布（落水散布）

※水稲用初期処理剤の使用時期に注意してください！　移植前の使用は農薬によって異なりますので使用後の日数は十分に注意をしてください。「除草効果」の安定と「水系の環境保全」のため、必ず守ってください。

施肥基準（10アール当り）

区分	土づくり肥料		元肥		穂肥	
品種名	肥料名	施肥量	肥料名	施肥量	肥料名	施肥量
ヒノヒカリ にこまる なつほのか	粒状ミネガード または ミネラルG	80kg 200kg	化成肥料14-14-14	35kg	化成肥料16-0-16	20kg
			エムコート2000（中生）（ヒノヒカリ、にこまる） エムコート2000（早生）（なつほのか）	30～40kg	不要	―

土づくりが基本です

1. 国東半島は河川に珪酸分が少ないので毎年ミネガード80kgが必要である。（秋落地帯は鉄分を多く含むミネラルGが望ましい。）
2. 堆きゅう肥10アール当り 1～2tを施用し、耕起する。
3. 生わらをすき込み、硫安または石灰窒素を20kg散布して耕起する。

以上は秋冬期に施用する

◎過乾燥に注意し良質米を生産しよう。　適期田植でうまい米づくり　米は全量農協へ！

塩水選

（新しい卵で調べる）

種子消毒

※二剤混合を必ず行う
籾　1斗（10kg程度）

①スミチオン乳剤　②テクリードCフロアブル

シンガレセンチュウ予防

③籾袋をよくゆすり、薬液が中心まで浸水するようにする。

④種子消毒の廃液は適切に処理すること。

○育苗箱施薬

・必ず箱に50g施用すること　・ぬれ苗に使用しない
・散布後に散水すること

○ジャンボタニシの防除対策

方法①

薬剤	使用量	使用時期	注意事項
スクミノン	10a当り 1～4kg	田植え後～田植え２週間後に1回目を散布。1回目散布から1週間後に、圃場を確認し必要であれば2回目を散布。	水を溜めた状態で均一に散布する。

方法②

資材	散布量	使用方法　※水温 15℃以上の時に実施
石灰窒素	10a当り 20kg	荒起し後3～4cm湛水し、3～4日後に全面散布し、3～4日間湛水状態を保っておく。代かき後、2～3日以上おいて田植えを行う。（散布から田植えまでは7日以上あけること）元肥は PK 化成（40kg /10a）のみを施用すること。穂肥は通常通りの施用。

○稲こうじ病

薬剤名	注意事項
モンガリット粒剤	3～4kg 出穂3～2週間前
ゴウケツモンスター粒剤	
Z ボルドー粉剤DL	3～4kg 出穂10日前まで※
ドイツボルドーA	2000倍 60～150L 出穂10日前まで※

※ボルドー剤は薬害が生じやすいため、必ず出穂10日前までに散布する。

○カメムシ

イネカメムシは従来の斑点米カメムシ類より早期に田んぼに侵入する。そのため出穂期頃に圃場の確認を行い、イネカメムシがいたら早急に防除を行う。または、出穂前に予防的に粒剤散布を行う。

薬剤名	10a当り	注意事項
スタークル粉剤 DL	3kg	出穂期に散布 ※収穫７日前まで
スタークル粒剤		出穂の一週間前に湛水散布 ※収穫７日前まで
キラップ粒剤		出穂の一週間前に湛水散布 ※収穫 14 日前まで

農薬使用の基本ルールを守りましょう！

□農薬を使う前には、作物、使用方法を必ず確認しましょう！
・農薬ラベル確認、使用量・希釈倍数等
□防除記録は、必ず残しましょう！
・農薬名、散布日、使用量、濃度、収穫前日数
□対象作物以外に農薬が飛散・流出しないようにしましょう！
・周辺圃場の生産者との連絡、風がない時を選んで、ノズル等のこまめな調整
□農薬使用後の管理もしっかり確認しましょう！
・器具の洗浄、空容器や不要農薬の適正処理、保管庫の施錠等
□生産者の安全は、自ら実践で！
・十分な睡眠、不浸透性防除衣、手袋、農薬用マスク、保護眼鏡、長靴、帽子の着用等

作業メモ

土づくり	種子消毒	播種日	元肥施用	箱苗施薬日	田植	初期除草剤散布	中後期除草剤散布	病害虫防除	無人ヘリ散布	穂肥施用	出穂	稲刈
月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日～月　日	月　日	月　日	月　日	1回目 月　日 2回目 月　日	月　日	月　日	月　日

JAおおいた東部営農経済センター
農畜産課 0978-72-0617　経済課 0978-72-5151

国東配送センター　0978-72-1340　国見配送センター　0978-82-1250
武蔵配送センター　0978-68-1123　安岐配送センター　0978-67-1315
杵築配送センター　0978-63-4417　山香配送センター　0977-75-0470